

I 当院は、厚生労働大臣の定める基準に基づいて診療を行っている保険医療機関です。

II 入院基本料について

当院では、（日勤、夜勤あわせて）入院患者 7 人に対して 1 人以上の看護職員を配置しております。入院患者 2 5 人に対して 1 人以上の看護補助者（みなし含む）を配置しております。また、中央 4 階（H C U）では、入院患者 4 人に対して 1 人以上の看護職員を配置しております。

各病棟の看護職員（看護師及び准看護師）の配置は右表のとおりです。

病棟改修工事のため一病棟を順次閉鎖（～令和 7 年度まで）

	1 日に勤務する人数	時間帯毎の看護職員 1 人当たりの受持ち人数		
		8：30～17：00	16：30～1：00	0：30～9：00
東 2 階	15 人以上	5 人以内	9 人以内	9 人以内
東 3 階	—	—	—	—
東 4 階	26 人以上	4 人以内	15 人以内	15 人以内
東 5 階	26 人以上	4 人以内	15 人以内	15 人以内
東 6 階	26 人以上	4 人以内	15 人以内	15 人以内
東 7 階	23 人以上	4 人以内	16 人以内	16 人以内
西 2 階	21 人以上	4 人以内	16 人以内	16 人以内
中央 4 階	9 人以上	4 人以内	4 人以内	4 人以内

III 入院診療計画、院内感染防止対策、医療安全管理体制について

当院では、入院の際に医師を始めとする関係職員が共同して、患者さんに関する診療計画を策定し、 7 日以内に文書によりお渡ししております。

また厚生労働大臣が定める基準を満たした院内感染防止対策および医療安全管理体制に取り組んでいます。

IV 医療安全について

医療安全に関するご相談は、医療安全管理者が総合相談室と連携しお受けしていますので、総合相談窓口又は病棟師長にお気軽にお申し出ください。

V D P C 対象病院について

当院は、入院医療費の算定に当たり包括評価と出来高評価を組み合わせで計算する DPC 対象病院(標準病院群)となっております。

医療機関別係数は 1.5427 です。係数の内訳は、基礎係数 1.0451、機能評価係数(Ⅰ)0.3515、機能評価係数(Ⅱ)0.1265、救急補正係数 0.0196 です。

VI 当院では、厚生労働省東海北陸厚生局長に、3 頁「施設基準受理番号一覧表」の届出を行っております。

- 医科
 - 医療 D X 推進体制整備加算
 - 一般病棟入院基本料（急性期一般入院料 1）
 - 結核病棟入院基本料（7 対 1）
 - 総合入院体制加算 3
 - 救急医療管理加算
 - 超急性期脳卒中加算
 - 診療録管理体制加算 1
 - 医師事務作業補助体制加算 1（1 5 対 1）
 - 急性期看護補助体制加算（2 5 対 1）（看護補助者 5 割以上）
 - 看護職員夜間配置加算（1 6 対 1 配置加算 1）
 - 療養環境加算
 - 重症者等療養環境特別加算
 - 無菌治療室管理加算 1
 - 無菌治療室管理加算 2
 - 緩和ケア診療加算
 - 栄養サポートチーム加算
 - 医療安全対策加算 1
 - 感染対策向上加算 1
 - 患者サポート体制充実加算
 - 重症患者初期支援充実加算
 - ハイリスク妊娠管理加算
 - ハイリスク分娩管理加算

- ☐ 呼吸ケアチーム加算
- ☐ 後発医薬品使用体制加算 1
- ☐ バイオ後続品使用体制加算
- ☐ データ提出加算
- ☐ 入退院支援加算（1）
- ☐ 認知症ケア加算【加算 2】
- ☐ せん妄ハイリスク患者ケア加算
- ☐ 精神疾患診療体制加算
- ☐ 地域医療体制確保加算
- ☐ ハイケアユニット入院医療管理料 1
- ☐ 新生児特定集中治療室管理料 2
- ☐ 小児入院医療管理料 4
- ☐ 短期滞在手術等基本料 1
- ☐ 外来栄養食事指導料の注 2 に規定する施設基準
- ☐ 糖尿病合併症管理料
- ☐ がん性疼痛緩和指導管理料
- ☐ がん患者指導管理料イ
- ☐ がん患者指導管理料ロ
- ☐ がん患者指導管理料ハ
- ☐ がん患者指導管理料ニ
- ☐ 外来緩和ケア管理料
- ☐ 糖尿病透析予防指導管理料
- ☐ 乳腺炎重症化予防ケア・指導料
- ☐ 婦人科特定疾患治療管理料
- ☐ 腎代替療法指導管理料
- ☐ 一般不妊治療管理料
- ☐ 二次性骨折予防継続管理料 1
- ☐ 二次性骨折予防継続管理料 3
- ☐ 慢性腎臓病透析予防指導管理料
- ☐ 地域連携小児夜間・休日診療料 1
- ☐ 地域連携夜間・休日診療料
- ☐ 院内トリアージ実施料
- ☐ 夜間休日救急搬送医学管理料の注 3 に規定する救急搬送看護体制加算
- ☐ 外来放射線照射診療料
- ☐ 外来腫瘍化学療法診療料 1
- ☐ 外来腫瘍化学療法診療料の注 8 に規定する連携充実加算
- ☐ 外来腫瘍化学療法診療料の注 9 に規定するがん薬物療法体制充実加算
- ☐ 開放型病院共同指導料（Ⅱ）
- ☐ ハイリスク妊産婦共同管理料Ⅰ
- ☐ がん治療連携計画策定料
- ☐ ハイリスク妊産婦連携指導料 1
- ☐ ハイリスク妊産婦連携指導料 2
- ☐ 肝炎インターフェロン治療計画料
- ☐ 薬剤管理指導料
- ☐ 検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
- ☐ 医療機器安全管理料 1
- ☐ 在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注 2
- ☐ 在宅患者訪問看護・指導料の注 17(同一建物居住者訪問看護・指導料の注 6 の規定により準用する場合を含む。)及び精神科訪問看護・指導料の注 17 に規定する訪問看護医療 DX 情報活用加算
- ☐ 在宅血液透析指導管理料
- ☐ 持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合）及び皮下連続式グルコース測定
- ☐ 持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合）
- ☐ 遺伝学的検査の注 1 に規定する施設基準
- ☐ 染色体検査の注 2 に規定する基準
- ☐ B R C A 1／2 遺伝子検査
- ☐ 先天性代謝異常症検査
- ☐ H P V 核酸検出及び簡易ジェノタイプ判定

- ☐ 検体検査管理加算Ⅱ
- ☐ 検体検査管理加算Ⅳ
- ☐ 遺伝カウンセリング加算
- ☐ 時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
- ☐ 胎児心エコー法
- ☐ 長期継続頭蓋内脳波検査
- ☐ 神経学的検査
- ☐ コンタクトレンズ検査料 1
- ☐ 小児食物アレルギー負荷検査
- ☐ 内服・点滴誘発試験
- ☐ 画像診断管理加算 2
- ☐ ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影（アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く。）
- ☐ ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影（アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。）
- ☐ CT撮影及びMRI撮影
- ☐ 冠動脈CT撮影加算
- ☐ 心臓MRI撮影加算
- ☐ 乳房MRI撮影加算
- ☐ 小児鎮静化MRI撮影加算
- ☐ 頭部MRI撮影加算
- ☐ 抗悪性腫瘍剤処方管理加算
- ☐ 外来化学療法加算 1
- ☐ 無菌製剤処理料
- ☐ 心大血管疾患リハビリテーション料Ⅰ
- ☐ 脳血管疾患等リハビリテーション料Ⅰ
- ☐ 運動器リハビリテーション料Ⅰ
- ☐ 呼吸器リハビリテーション料Ⅰ
- ☐ がん患者リハビリテーション料
- ☐ 精神ショート・ケア「小規模なもの」
- ☐ 精神デイ・ケア「小規模なもの」
- ☐ 硬膜外自家血注入
- ☐ 人工腎臓（1）
- ☐ 導入期加算 2 及び腎代替療法実績加算
- ☐ 透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
- ☐ 下肢末梢動脈疾患指導管理加算
- ☐ ストーマ合併症加算
- ☐ 組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る。）
- ☐ 緊急整復固定加算及び緊急挿入加算
- ☐ 骨移植術（軟骨移植術を含む。）（自家培養軟骨移植術に限る。）
- ☐ 人工股関節置換術（手術支援装置を用いるもの）
- ☐ 後縦靱帯骨化症手術（前方進入によるもの）
- ☐ 椎間板内酵素注入療法
- ☐ 緊急穿頭血腫除去術
- ☐ 乳癌センチネルリンパ節生検加算 1 及びセンチネルリンパ節生検（併用）（センチネルリンパ節生検（併用））
- ☐ 乳癌センチネルリンパ節生検加算 2 及びセンチネルリンパ節生検（単独）（センチネルリンパ節生検（単独））
- ☐ ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）
- ☐ 乳腺悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
- ☐ 胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- ☐ 胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- ☐ 気管支バルブ留置術
- ☐ 胸腔鏡下肺切除術（区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるものに限る。）（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- ☐ 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合）
- ☐ 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- ☐ 肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
- ☐ 経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）
- ☐ 経皮的中隔心筋焼灼術
- ☐ ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
- ☐ 大動脈バルーンパンピング法（IABP法）

- 腹腔鏡下リンパ節群郭清術（側方）
- 骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
- 腹腔鏡下胃切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 腹腔鏡下噴門側胃切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 腹腔鏡下胃全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
- 体外衝撃波胆石破碎術
- 腹腔鏡下肝切除術（部分切除及び外側区域切除）
- 体外衝撃波膵石破碎術
- 腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
- 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
- 腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 腹腔鏡下直腸切除・切断術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
- 腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術支援機器を用いるもの)
- 腹腔鏡下腎盂形成手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- 腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
- 胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）（医科点数表第 2 章第 10 部手術の通則の 16 に掲げる手術）
- 周術期栄養管理実施加算
- 輸血管理料Ⅰ
- 輸血適正使用加算
- 人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
- 胃瘻造設時嚥下機能評価加算
- 麻酔管理料Ⅰ
- 麻酔管理料Ⅱ
- 高エネルギー放射線治療
- 病理診断管理加算 1
- 悪性腫瘍病理組織標本加算
- 看護職員処遇改善評価料（6 1）
- 外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）
- 入院ベースアップ評価料（7 3）
- 入院時食事療養（Ⅰ）・入院時生活療養（Ⅰ）
- 酸素の購入価格の届出

● 歯科

- 地域歯科診療支援病院歯科初診料
- 歯科外来診療医療安全対策加算 2
- 歯科外来診療感染対策加算 3
- 地域歯科診療支援病院入院加算
- 歯科疾患管理料の注 1 1 に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
- 歯科口腔リハビリテーション料 2
- C A D／C A M冠及びC A D／C A Mインレー
- 口腔病理診断管理加算 1
- クラウン・ブリッジ維持管理料
- 歯科外来・在宅ベースアップ評価料（1）

Ⅶ 入院時食事療養（Ⅰ）を算定すべき食事療養の基準に係る届出

当院は、入院時食事療養費に関する特別管理により食事の提供を行っております。療養のための食事は管理栄養士の管理の下に適時適温で提供しており、夕食は午後 6 時より配膳を行っております。

Ⅷ 明細書発行体制について

医療の透明化や患者さんへの情報提供を推進していく観点から、領収書の発行の際に個別の診療報酬の算定項目の分かる明細書を無料で発行しております。（自己負担が生じない場合も発行します。）

明細書には、使用した薬剤の名称や行われた検査の名称が記載されますので、その点をご理解いただき、ご家族の方が代理で会計を行う場合、その代理の方への発行を含めて、明細書の発行を希望されない場合は、会計窓口にてその旨をお伝えください。

Ⅸ 保険外負担に関する事項

当院では、個室使用料、証明書・診断書料などにつきまして、その利用日数等に応じた実費のご負担をお願いしております。

1) 特別療養環境の提供（税込）

	東病棟						西病棟
	特別室 11,520 円	個室 A 6,280 円	個室 B 4,180 円	個室 C 3,150 円	個室 D 2,100 円	2 人室 1,050 円	個室 B 4,180 円
7 階	1707	1705	1702 1703 1713 1726			1701 1712 1725	
6 階	1613	1605 1610	1602 1603 1607 1608			1601 1606	
5 階	1513	1506 1510	1502 1503 1507 1508			1501 1505	
4 階	1413	1406 1410	1402 1403 1407 1408	3410 3416		1401 1405	
3 階	1313	1306 1310	1302 1303 1307 1308			1301 1305	
2 階		1210 1211	1201 1202 1203 1205 1206 1207 1208 1212	1217 1221 1222 1226 1228 1230	1218 1220 1223 1225		2215 2216 2217 2218

2) 日常生活上のサービスに係る費用（手術、検査等を行う場合は除く）（単価）（税込）

紙オムツ

- リフレ横漏れ防止簡単テープ止め（M） 6 2 円
- リフレ横漏れ防止簡単テープ止め（L） 9 4 円
- リフレはくパンツスリム（M） 4 6 円
- リフレはくパンツスリム（L） 5 1 円
- グーンスキップパンツ（男の子用） 6 9 円
- グーンスキップパンツ（女の子用） 6 9 円

尿取パット

- リフレパッドタイプ（パワフル） 1 1 円
- リフレパッドタイプ（ワイド） 1 6 円
- リフレフラットタイプ（レギュラー） 1 8 円
- リフレフラットタイプ（ビッグ） 2 8 円
- リフレ 3 2 円

腹帯（フリーサイズマジックテープ式） 6 3 0 円

T 字帯（雪） 1 8 7 円

死後処置料 3, 3 0 0 円

病衣使用料（1 日） 6 0 円

3) 文書等の発行に係る費用（1 通・1 回・1 枚につき）（単価）（税込）

診断書

- 一般診断書 1, 6 5 0 円
- 生命保険受給に関する診断書 3, 3 0 0 円
- 年金に関する診断書 3, 3 0 0 円
- 身体障害者の等級に関する診断書 2, 7 5 0 円

自動車損害賠償責任保険に関する診断書	4, 4 0 0 円
裁判に関する診断書	5, 5 0 0 円
死亡診断書	2, 2 0 0 円
死体検案書	4, 4 0 0 円
その他診断書	1, 6 5 0 円
証明書	
一般証明書	1, 6 5 0 円
生命保険受給に関する証明書	3, 3 0 0 円
分娩手当請求に関する証明書	2, 2 0 0 円
自動車損害賠償責任保険受給に関する証明書	2, 2 0 0 円
その他証明書	1, 6 5 0 円
その他 セカンド・オピニオン料	1 1, 0 0 0 円
医師面談料	5, 5 0 0 円
画像等データ提供料（ＣＤ－Ｒ）	1, 6 5 0 円
白黒コピー料金（原本複写・情報開示等）	1 枚 2 0 円
カラーコピー料金（原本複写・情報開示等）	1 枚 1 0 0 円

4） 初診・再診に係る選定療養費の徴収

当院では、他の医療機関からの紹介によらず直接来院された患者さんについては初診時選定療養費として、また、当院から他の医療機関へ紹介を行った患者さんが引き続き当院への受診を自ら希望され紹介状を持たずに当院を受診された場合については再診時選定療養費として、以下の金額を徴収します。ただし、公費負担医療利用者、労災等の方等はこの限りではありません。

	初診時選定療養費	再診時選定療養費
医科	7,700 円（税込）	3,300 円（税込）
歯科	5,500 円（税込）	2,090 円（税込）

5） 入院期間が１８０日を超える場合の費用の徴収

同じ症状による他院のご入院期間も含めて通算１８０日を超えますと、健康保険からの入院基本料１５％が病院に支払われません。１８０日を超えた日からの入院が選定療養対象となり、特定療養費として１日につき２， ７ ２ ０円が患者さんの負担となります。ただし、患者さんの状態が「厚生労働大臣の定める状態」である場合は、この限りではありません。

※Ⅷ保険外負担に関する事項に示す料金のうち、3)文書等の発行に係る費用を除き、助産に係る料金については、消費税分を減額して請求します。

6） 長期収載品（後発医薬品のある先発医薬品）を患者さんの希望で使用した場合の費用の徴収。

先発医薬品と後発医薬品の価格差の４分の１相当の金額が選定療養費としてかかります。ただし、入院の場合は、この限りではありません。

例）先発医薬品の価格が１錠 100 円、後発医薬品の価格が１錠 60 円の場合、差額 40 円の４分の１である 10 円がご負担する分です。

通常の１～３割の患者負担とは別に特別の料金としてお支払いいただきます。

課税対象のため消費税分も加わり端数処理の関係で４分の１ちょうどにならない場合もあります。

後発医薬品がいくつか存在する場合は、薬価が一番高い後発医薬品との価格差で計算します。

X 施設基準に係る院内掲示

1） 当院では、下記のとおりの手術症例数があります。（期間：令和 6 年 1 月～令和 6 年 1 2 月）

- 区分一に分類される手術
 - ア 頭蓋内腫瘍摘出術等 7 件
 - イ 黄斑下手術等 2 6 件
 - ウ 鼓室形成手術等 0 件
 - エ 肺悪性腫瘍手術等 7 件
 - オ 経皮的カテーテル心筋焼灼術、肺静脈隔離術 0 件
- 区分二に分類される手術
 - ア 靱帯断裂形成手術等 6 件
 - イ 水頭症手術等 1 3 件
 - ウ 鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等 0 件
 - エ 尿道形成手術等 1 件
 - オ 角膜移植術 0 件
 - カ 肝切除術等 2 0 件
 - キ 子宮附属器悪性腫瘍手術等 1 0 件
- 区分三に分類される手術
 - ア 上顎骨形成術等 2 件
 - イ 上顎骨悪性腫瘍等手術等 0 件

ウ	バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）	1 件
エ	母指化手術等	0 件
オ	内反足手術等	0 件
カ	食道切除再建術等	0 件
キ	同種死体腎移植術等	0 件
●	区分四に分類される手術	
	胸腔鏡及び腹腔鏡による手術等	3 8 4 件
●	その他の区分に分類される手術	
ア	人工関節置換術	1 1 7 件
イ	乳児外科施設基準対象手	0 件
ウ	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術方	4 9 件
エ	冠動脈、大動脈バイパス移植術（人工心肺を使用しないものを含む）及び体外循環を要する手術	4 件
オ	経皮的冠動脈形成術（急性心筋梗塞に対するもの）	0 件
	経皮的冠動脈形成術（不安定狭心症に対するもの）	4 件
	経皮的冠動脈形成術（その他のもの）	4 件
	経皮的冠動脈粥腫切除術	0 件
	経皮的冠動脈ステント留置術（急性心筋梗塞に対するもの）	1 6 件
	経皮的冠動脈ステント留置術（不安定狭心症に対するもの）	1 6 件
	経皮的冠動脈ステント留置術（その他のもの）	1 7 件
●	大腿骨近位部骨折後 4 8 時間以内の手術	5 6 件

2）医療 DX による健康保険証等の電子資格確認および医療情報の有効活用について

当院は、オンライン資格確認やマイナンバーカードで健康保険証の確認を行っています。

マイナンバーカードによる受付の際、情報共有に同意していただくと、他の医療機関で処方されたお薬情報も、お薬手帳がなくても医療機関・薬局同士で医療情報の共有が可能となります。その他、特定健診等を受けられている場合は、検査結果なども情報共有することができます。

限度額適用認定証の手続きが不要となります。この制度は、医療機関や薬局の窓口で支払った額が、ひと月（月の初めから終わりまで）で上限額を超えた場合、その超えた金額を支給する制度です。これまでは、会社や市役所で申請が必要でしたが、マイナンバーカードを保険証として利用することで申請は不要となります。

3）緩和ケアチームによる診療が受けられます。

緩和ケアチームとは、からだのつらさだけでなく、こころのつらさ、経済的なことなど、困っていることについて、いろいろな職種と協力しながら解決できるようにする、患者さんご家族を支援するチームです。当院では、からだのつらさの緩和を専門とする医師、こころのつらさの緩和を専門とする医師と公認心理師、緩和ケアについての知識と技術を持った看護師、薬剤師、理学・作業療法士、管理栄養士、ソーシャルワーカーが緩和ケアチームのメンバーです。

4）栄養サポートチームによる診療について

当院では、栄養状態の悪い患者様に対して、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士等、さまざまな職種のメンバーが集まり回診やカンファレンスを行っています。適切な栄養管理を行い、全身状態の改善に取り組んでいます。

5）ハイリスク分娩等管理加算及びハイリスク妊産婦共同管理料Ⅰについて

当院では、ハイリスク症例の場合等、下記の医療機関と連携を取り最善の共同管理を行う体制を整えております。

富山大学附属病院（富山市杉谷 2630）	Tel076-434-2315
富山県立中央病院（富山市西長江 2 丁目 2-78）	Tel076-424-1531
富山市民病院（富山市今泉北部町 2-1）	Tel076-422-1112
あわの産婦人科医院（下新川郡入善町入膳 229-3）	Tel0765-72-0588
黒部市民病院（黒部市三日市 1108 番地 1）	Tel0765-54-2211（代表）
令和 6 年 1 月～12 月の年間分娩件数	360 件
産婦人科医師	6 人
助産師	17 人

6）後発医薬品使用体制加算について

当院では後発医薬品（ジェネリック医薬品：先発医薬品と同じ成分を含み、同じ効果が期待できる医薬品）の使用に積極的に取り組んでおり、医薬品の供給が不足した場合に、医薬品の代替品の提供や用量・投与日数の変更などの処方変更に関して適切な対応を行います。

7）バイオ後続品使用体制加算について

厚生労働省の後発医薬品・バイオ後続品の使用推進の方針に従い、患者様負担の軽減、医療保険財政の改善に資するものとして後発医薬品（ジェネリック医薬品）およびバイオ後続品（バイオシミラー）を積極的に採用しております。

8) がん性疼痛緩和指導管理料について

がん性疼痛の症状緩和を目的とした神経ブロックをがん患者に提供できる体制を整備しております。

9) 外来腫瘍化学療法診療料 1 について

医師、看護師又は薬剤師が院内に常時 1 人以上配置されており、外来でがん薬物療法を受けている患者方からの電話等による緊急の相談等に 24 時間対応できる連絡体制を整備しています。

外来でがん薬物療法の治療を受けている患者方が急変時などの緊急時に受診・入院できる体制を確保しています。

実施される化学療法のレジメン（治療内容）の妥当性を評価し、承認する会を開催しています。また、実施されるレジメンを黒部市民病院のホームページ等で閲覧できます。

10) 患者相談窓口について

当院では、疾病に関する医学的な質問並びに生活上及び入院上の不安等、さまざまな相談をお伺いする窓口を設置しています。ご希望の方は、1 階「総合相談窓口」までお申し出ください。

11) 入退院支援加算について

当院では、病棟ごとに専任の入退院支援職員を配置し、患者さんが安心・納得して退院し、早期に住み慣れた地域で療養や生活を継続できるように、施設間の連携を推進し退院のご支援を実施しております。各病棟に掲示をしておりますのでご覧ください。

12) 院内トリアージ実施料について

当院では、救急で受診される患者さんに対し院内トリアージを行なっています。トリアージでは、患者さんの症状に従って、病気の緊急度を決定し、診療の優先順位付けを行います。来院順に診療する体制と異なり、緊急度の高い患者さんを優先的に診療することがあります。

13) 地域歯科診療支援病院歯科初診料について

当院では、以下のとおり歯科診療に係る院内感染防止対策を実施しています。

- ・口腔内で使用する歯科医療機器等について、十分な院内感染防止対策を講じています。
- ・感染症患者に対する歯科診療を円滑に実施する体制を確保しています。
- ・常勤の歯科医師が定期的に院内感染防止対策に関する研修を受講しています。
- ・定期的に職員を対象とした院内研修等を実施しています。

14) 歯科外来診療医療安全対策加算 2 について

当院では、以下のとおり歯科診療に係る医療安全対策を実施しています。

- ・常勤の歯科医師が定期的に医療安全に関する研修を受講しています。
- ・複数の常勤歯科医師を配置しています。
- ・医療安全に関する装置・機器を配置しています。
- ・診療中の緊急時は、院内緊急コール等で各診療科と速やかに連携する体制を構築しています。